



公式ガイドブック

カンボジア



VISIT *Cambodia*
SIEM REAP
2024

www.tourismcambodia.org

【個人の起業、法人企業向け、各種ワンストップサービス】

【各種ビザ取得、延長、労働許可証取得代行サービス】

観光ビザ(Tビザ)、一般ビジネスビザ(Eビザ)の更新、ワークパミット取得代行サービス。

【通常価格】	【特別価格】
1か月 \$70	1か月 \$??
3か月 \$100 →	3か月 \$??
6か月 \$180	6か月 \$???
1年 \$310	1年 \$???
労働許可証 →	\$???



【短期、中期、長期 運転手付き車両リース】

1日から、中期～長期、仕事用、ファミリー用、ゴルフ用でも、運転手



付き車両レンタルやっています。日本人スタッフが運転手との調整を行いますので、トラブル時のストレスも緩和されます。

【個人の起業、法人企業向け、各種ワンストップサービス】

海外進出支援(会社設立、法人登記、各種ライセンス取得、延長代行等)、各種調査(市場調査、企業マッチング、現地訪問調査代行等)、各種イベント、アポイントメント代行業務(NGO、日系企業、ローカル企業等)、通訳、翻訳、視察ツアー各種手配、経験豊かな日本人スタッフとの面談、チャットで、お客様のニーズに合わせて、スピーディーなお見積りと、サービスをご提供。

【訪日旅行手配、JRバス、ビザ&パスポート取得サポート】

取引先や、社員の報奨旅行先として、訪日旅行はいかがでしょうか? 弊社は日本での受入責任者登録資格がある旅行会社であり、日本、カンボジア両方に総合旅行業務取扱管理者が在籍。VIP旅行から、一般の旅行まで、お気軽にお問い合わせください。



【銀行口座・証券口座開設、不動産視察、ロングステイ相談】

現地在住ロングステイアドバイザーによる無料相談いつでも開催中! 不動産投資、銀行口座・証券口座開設ツアー開催中! LINE、FB、テレグラム等でお気軽にお問い合わせ下さい。



カンボジアで17年、日本語可! 通訳、車両、ビザ、航空券等、各種手配

クロマーツアーズ

cambodia@sketch-travel.com

012-890960 / 099-890960

krormatours



日本語でどうぞ!



krormatourspp



銀行口座開設ツアー

- ▶ ABA ▶ ACLEDA BANK
- ▶ CANADIA BANK ▶ SBI LH
- ▶ J TRUST ROYAL BANK
- ▶ KB PRASAC ▶ Phillip Bank
- ▶ SATHAPANA Bank ▶ PPCBankなど

カンボジアの銀行口座開設、証券口座開設サポートを行っています。経験豊かな日本語スタッフが銀行にご同行いたします。また、多くの銀行はカンボジアへの訪問が必要ですが、一部の銀行は日本にいながらの開設も可能です。

*必要な書類、ビザなど開設にあたり条件がございます。料金等詳細はお問い合わせください。



クロマーツアーズ

cambodia@sketch-travel.com

099-890960

krormatours

日本語でどうぞ!



krormatourspp 099-890960

カンボジア人向け 訪日観光旅行・視察各種手配

有資格者、専任担当者による無料相談行っています。

- ▶ 訪日ビザ取得代行サポート
- ▶ カンボジアパスポート発行サポート
- ▶ JRバス引換券発行
- ▶ SIMカード、Wi-Fiレンタル
- ▶ ホテル、通訳、車両、航空券手配
- ▶ スタディツアー/ホームステイ手配
- ▶ メディカルツアー/ MICEイベント手配

取引先や、社員の報奨旅行先として、訪日旅行はいかがでしょうか？弊社は日本でもライセンス取得済み旅行会社であり、日本、カンボジア両方に総合旅行業務取扱管理者が在籍。VIP旅行から、一般の旅行、学生向けスタディツアーまで、お気軽にお問い合わせください。

日本語可！通訳、車両、ビザ、航空券等、各種手配
Kroorma Tours

クロマーツアーズ

012-890960 / 099-890960
cambodia@sketch-travel.com



krormatourspp 099-890960

カンボジアビジネスの 広告・PRなら

Kroorma
MAGAZINE Life & Travel



シェムリアップ版
生活 & 旅行



プノンペン版
生活 & ビジネス



くろまる
シェムリアップの便利地図 & 新聞

クロマーマガジンは2006年創刊。
カンボジアの情報誌として、
この国に住む人や、この国に訪れる人に
生活、旅行、ビジネス情報等をお届けしています。

くろまるは、クロマーマガジンの簡略版の地図 & 新聞となります。
雑誌版ご希望の方は、お近くのクロマーツアーズまで。

PDF版は→



お得な長期車両リース情報

アルファード
アバンザ
ハイランダー
カムリ 等

980 \$ ~ / 1ヵ月



運転手付き車両レンタル

クロマーツアーズ

日本語でどうぞ！

cambodia@sketch-travel.com

099-890960

krormatours



krormatourspp 099-890960

カンボジアでの各種出版物、映像撮影、編集制作、
メディアサポート、営業代行全般承っております。



撮影、編集、営業等業務実績一覧



撮影コーディネート



イベント撮影



オンラインツアー
教育ツアー用撮影



広告撮影
観光・PR用撮影



TV/CM/広告撮影



空撮・VR撮影

各種撮影許可取り等各種お問合せ、お見積もりはこちらから
クロマーメディア事業部 info@seishiron.com
017-777-110



日本のみなさまへ

ソク・ソケン観光大臣より



アフターコロナのカンボジアの観光セクターを強化するにあたり、新たな体制、チーム編成の下、私たちが重要と考える観光再開への優先度に対してこのように発表する機会を得られたことを大変嬉しく思います。そして観光セクターをより活性化させるために、観光省内で統一した戦略と共通言語を持つことの重要性をここに強調したいと思います。

私たちが新しく率先していく観光戦略としては、カンボジアが世界的な観光地となるように合理的に誘い、観光分野の強化促進がゴールであると考えています。この戦略構想は、我々のビジョン、ミッション、戦略、目標を定めたものであり、これらを明確にすることによって、我々は明確にビジョンを達成することができると考えます。私たちのアプローチは、この新しい戦略的イニシアチブを計画、実行、監視するために、共通した言語、意識、考え方を共有し、採用することにより、観光関連機関が一致団結し、一つのゴールに向かって実行していきます。この戦略的展望には、以下の項目が重点と考えています。

- 目的の明確化：共通言語によって、本省の全メンバーが戦略の本質、目的、行動計画を把握できるようにします。そうすることで、定められたゴールに対して関係者全員が一致団結して取り組むことができるようになり、結果、統一された方向性のもと、私たちの努力により影響力を増幅させることができます。

- 意思決定の統一：戦略的イニシアチブに関し、共通言語を採用したことで、意思決定がより効率的かつ効果的になっています。単一の分析的枠組みのもと意思決定を調整することで、より望ましい結果に近づけます。

- コラボレーションの強化：共通言語により、部門間やチームメンバー間の協力をより強固にしています。オープンディスカッション、的確なフィードバックのためのプラットフォームが構築され、専門知識や多様な視点を活用することができるようになりました。

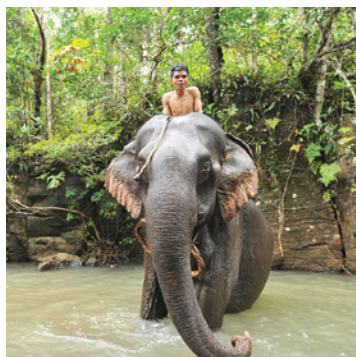
- 信頼の構築：共通言語の採用により、チーム間にはより深い信頼感と協調性を育めるようになっていきます。相互理解の強固な基盤を確立することで、互いを信頼し、合致した仕事と習慣を身につけることができます。

- プロジェクトと活動の同期化：実際のプロジェクトや活動を効果的に同期することで、限られた人的、金銭的資源を最適化し、重複を防ぎ、互いの努力を確実に補完することができるようになっています。

これらの結論として、共通言語の採用は、観光省における全ての業務のバックボーンであると考えています。カンボジア王国フン・マネット首相による強いリーダーシップのもと、ロイヤルガバメント第7次指令書に沿い、観光産業リカバリーに向けて、全力で実施するという強い意思をもって、任務遂行を行っていく所存です。



カンボジア観光省大臣
ソク・ソケン



CONTENTS

ソク・ソケン観光大臣の挨拶	1
カンボジア地図	3
カンボジア基本情報	4
プノンペンと周辺部	5
街歩き ～ お薦め観光スポット ～	6
ショッピング	8
プノンペン近郊の観光スポット	9
プノンペン地図	11
カンボジアの交通手段・都市間移動	12
シェムリアップと周辺部	13
アンコール遺跡群	14
自然を楽しむ	18
街歩き ～ お薦め観光スポット ～	19
シェムリアップ近郊の観光スポット	21
シェムリアップ地図	22
ビーチリゾートエリア	23
プレアシハヌーク	24
カンボット	25
ケップ / コッコン	26
エコツーリズムエリア	27
ラタナキリ	28
モンドルキリ	29
クラチェ / スタウトレン	30
その他のエリア	31
コラム	
祝祭日と各種イベント	32
クメール料理 ～食を楽しむ～	33
カンボジアの歴史	35
各種連絡先	36
日本からカンボジアへ	37
メモ・発行情報	38

* 掲載されている情報は2024年9月時点のものとなります。掲載されている情報は各施設の事情により、予告なく変更されている場合がございます。

* 本書はカンボジア観光省の発行する公式ガイドブックとなります。掲載されている写真、文章、内容の一部、または全てを、許可なく複写・複製、または著作権法に基づかない方法で印刷物や電子メディアに引用することは、編集者および発行者の権利の侵害となります。

* 掲載されている写真等に関する権利侵害などのご連絡はカンボジア観光省 (info@seishiron.com) までご連絡ください。

カンボジア地図

【都市と周辺部】 ▶ P5～

- ① プノンペン(首都)
- ② カンダール州
- ③ タケオ州
- ④ コンボンスプー州
- ⑤ コンボンチュナン州
- ⑥ コンボンチャム州
- ⑦ プレイベン州

【遺跡・文化】 ▶ P13～

- ⑧ シェムリアップ州
- ⑨ バッタバン州
- ⑩ バンテアイミエンチェイ州
- ⑪ オダーミエンチェイ州
- ⑫ プレアヴィヒア州
- ⑬ コンポントム州

【エコツーリズム】 ▶ P27～

- ⑬ ラタナキリ州
- ⑭ モンドルキリ州
- ⑮ クラチェ州
- ⑯ ストゥントレン州

【ビーチリゾート】 ▶ P23～

- ⑭ プレアシハヌーク州
- ⑮ カンポット州
- ⑯ ケップ州
- ⑰ コッコン州

【その他のエリア】 ▶ P31～

- ⑰ ポーサット州
- ⑱ パイリン州
- ⑲ トボーノクモム州
- ⑳ スヴァイリエン州



カンボジア基本情報

国名 カンボジア王国

首都 プノンペン

政体 立憲君主制

元首 ノロドム・シハモニ国王

首相 フン・マネット首相

人口

約1,555万人(2019年)。男性は48.5%、女性が51.5%となっており、2008年度の調査より14.1%増加している。

民族

クメール人が9割程となるが、その他にベトナム人、中国人、チャム族やその他の少数民族などで構成されている。

宗教

国教は仏教となり、カンボジア人の多くが上座部仏教を信仰している。その他にはイスラム教、キリスト教などがある。

言語

公用語はクメール語(カンボジア語)となるが、英語教育も盛んなため、首都やシェムリアップでは英語が通じることが多い。

電圧 220ボルト、50ヘルツ



コンセントはA、Cタイプが主流。日本の家電を利用する場合は、変圧器が必要。

通貨・支払い

リエル(Riel)となるが、米ドル紙幣も一般的に使用できる。目安として1US\$は約4000~4100リエル。

都市部の飲食店では10%のVAT(付加価値税)がかかるが、小さなお店ではかからない、もしくは内税となることも多い。クレジットカードは観光客の利用が多い飲食店や宿泊施設、お土産店では使用できることが多い。

通信方法

空港や国境エリアでは携帯電話のSIMカードが1US\$~で購入できるのでスマートフォンを利用している場合は、便利。カフェや宿泊施設の多くでは無料Wi-Fiが完備されている。

▶ **国際電話のかけ方**

国際電話識別番号

カンボジアから日本

001

日本からカンボジア

001/0033/0061/0046
005345/009130など

+

010

+ 国番号 + 市外局番0を除く + 相手先の電話番号

+ 81

+

XX

+

XXXX-XXXX

+

855

+

XX

+

XXX-XXX

国土面積、位置

カンボジアは、東南アジアに位置しており、東部にはベトナム、北西部にはタイ、北部にはラオスと国境を接し、南西側にはシヤム湾がある。

国の北部と東部には山脈があるが、全体的に起伏が少ない平坦な国となり、国の中央をメコン川が南北に流れ、中央部には東南アジア最大の湖であるトンレサップ湖がある。

面積は181,035平方キロメートル(日本の半分程度)。



標準時・時差

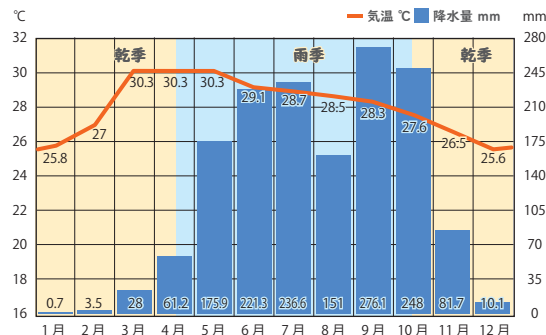
UTC+7。日本との時差は2時間となり、日本が12:00だと、カンボジアは10:00となる。

気候

熱帯モンスーン気候、平均気温は28.5度となっている。

乾季(11月~4月)と雨季(5月~10月)に分かれ、12月~1月が最も涼しく、3月~5月が最も暑い。雨季と言っても日本の梅雨とは異なり、雨が一日中降ることは少なく、夕方から深夜にかけて2時間程振るということが多く、あまり観光には支障がない。乾季に訪れる旅行者が多いが、雨季はグリーンシーズンと呼ばれ、緑が美しく、遺跡とのコントラストが楽しめる。

カンボジアの気候と降水量





プノンペンと周辺部

Around Phnom Penh

政治、経済の中心として急激な発展と成長率で注目されている首都プノンペン。大使館、NGO、企業など多いため、クオリティの高い飲食店が多く、コストパフォーマンスが高い「食」が楽しめる街である。

高層ビルや大型ショッピングセンター、高級コンドミニアムなども建設され、市街地にはレクサスやポルシェなどの高級車が走り、一昔前のカンボジアを知る者にとっては全く異なった国にいるかのように、日々変化している。とは言っても、少し市場や下町に入ると、昔から変わらない人々の日常生活や喧騒がコントラストとして楽しめる街でもある。



1 王宮/Royal Palace

2 シルバーパゴダ/Silver Pagoda

3 ワットプノン/Wat Phnom

4 国立博物館/National Museum

現国王の居住の場であり、戴冠式や王室行事が執り行なわれる公務の場でもある。中央の即位殿は「天」と繋がる三角窓と、高さ59mの尖塔が印象的。建造物の外観、ナポレオン三世の妻が王へプレゼントとした洋館などが楽しめる。入場料は40000リエル。

ノロドム王時代に王室の菩提寺として建立された寺院。床には、五千枚以上の銀タイルが敷かれているのでシルバーパゴダ(銀寺)と呼ばれる。寺院内にはエメラルド仏が鎮座し、周壁にはラーマーヤナ物語の壁画が描かれている。王宮に併設されており入場料は共通。

小高い丘の上にある由緒ある寺院で、「ブノンペン」の名前の由来になったベン夫人が1372年に建立。白いストゥーパにはアンコール地域からブノンペンへ遷都を行なったポニャヤット王の聖骨が納められている。入場料1US\$。

カンボジア全土から出土したクメール遺跡の石像や美術品が収集、展示している博物館。館内はブレアンコール期、アンコール期、宮廷用具などが年代順に展示されている。また、定期的なイベントも開催されている。1905年開館。入場料10US\$。



6



6



5



5



8



8



8



7



7



7



9



9



9



10



10



9

5 独立記念塔/Independence Monument

フランス支配からの独立（1953年11月9日）を記念し1958年に建造されたモニュメント。カンボジアで最も有名な建築家ヴァンモリヴァン氏のデザインでアンコールワットの中央塔をイメージして造られている。

6 建築物散策ツアー/Architecture Tour

市内に各所に残る仏植民地時代の建物や都市の遍歴を学びながら楽しめる散策ツアー。専門ガイド付き3時間ツアー（英語）は毎週日曜日に催行されているが、日程が合わない人はプライベートツアーも可能。www.ka-tours.org

7 虐殺の歴史/History of genocide

1975～79年のポル・ポト政権時代には多くの人々が虐殺された。市内中心部には元高校校舎を収監所として利用したトゥールスレン博物館や、郊外には処刑所となったキリングフィールドなどがあり、当時の様子や歴史的背景などが学べるようになっている。

8 リバークルーズ/River Cruise

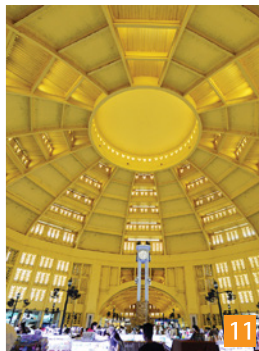
王宮や街の様子が河から望めるメコン河ブチクルーズが楽しめる。昼間は人々の水上生活の様子や漁の様子が楽しめ、夕方から夜にかけてはライトアップされた王宮、サンセット、ナイトクルーズが楽しめる。船により一人5US\$程度から。

9 サファリワールド/Safari World

虎の火の輪くぐり、オランウータンショー、クロコダイルショーなど、動物による様々なショーが楽しめ、週末になると家族連れでいっぱいとなる。大人20US\$、子供は身長により料金は異なる。市内からサファリワールドまでは片道40分ほどかかる。

10 シルクアイランド/Silk Island

機織り村として有名なダッチ島。島ではシルク織物が盛んで、民家の下で機織りをする様子が見られる。のんびりと村の散策も楽しいが、時間があれば島での滞在も可能。市内からの日帰りサイクリングツアーなどもある。



11 セントラルマーケット / Central Market

独特なフォルムとカラーでプノンペンのランドマークとなる中央市場でフランス植民地時代の1937年に建造された。敷地内には地元の人々の集まる生鮮食品、ファッションエリア、外国人向けのお土産物エリアなどがある。地元名はプサートマイ。

12 ロシアンマーケット / Russian Market

外国人観光客に人気が高い大型ローカル市場。主に骨董品、民芸品、絵画、靴、CD、DVDなど。衣料品ではブランド物のアウトレット商品などの掘り出し物もある。地元ではプサートウルトンボンと呼ばれる。

13 ショッピングモール / Shopping Mall

2014年オープンのイオンモールにはスーパーやフードコート、カフェ、ファッション店、飲食店、ゲームセンターや映画館などがあり、子供連れでも楽しめる。他にもソリヤセンターポイント、オリンピアモール、イオンモールセンソック店などのショッピングモールがある。

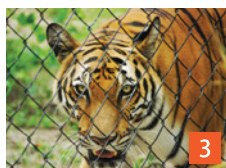
14 雑貨店巡り / Shopping around City

おしゃれな雑貨店やカフェが並ぶ240番通り、アートショップが並ぶ178番通りなどのほか、西洋人オーナーが運営する雑貨店や日系のお土産店、雑貨店、胡椒屋さんなどが市内各地に点在している。夜のショッピングなら、地元客が集まるナイトマーケットなどもある。

プノンペン近郊

Around Phnom Penh

プノンペン周辺にはカンダール州、コンボンスプー州、タケオ州、コンポンチャム州、コンポンチュナン州、プレイベン州などがあり、それぞれ片道1～2時間程度と日帰り観光が可能である。それぞれ地域によって特色があるので、自分の旅のスタイルによって訪問してみよう。



1 ▶ **カンダール州**/Kandal

2 ▶ **コンボンスプー州**/Kampong Speu

3 ▶ **タケオ州**/Takeo

1618年～1866年、プノンペンに首都が移転する前の古都となるウドン寺院が有名。プノンペンから北に50km、山頂には4つの大きな仏塔が建立されており、内戦時代に爆撃を受けた巨大な仏像も鎮座している。山麓にはかご細工の村もある。

プノンペン西部、車で2.5時間程のキリロム国立公園ではチョンボック滝、ホームステイ、リゾートステイなどが楽しめる避暑地としてプノンペン在住者にも人気が高い。またカンボジア最高峰、1813mのアオラル山もあり、乾季には2泊3日の登山も楽しめる。

山頂にあるプノンチソー寺院、プレアンコール時代のプノンダー寺院などのクメール遺跡が点在するほか、様々な野生動物が保護されているタマウ自然動物園、84000体の金の仏像が並ぶプレアブットキリバゴダなどがある。プノンペン南部、車で2時間程。



4



4



4



4



4



4



5



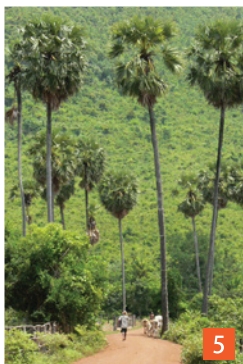
4



4



5



5



5



6



5



6



6

4 ▶ コンボンチャム州/Kampong Cham

12世紀に造られたワットノコール寺院、2001年に日本の支援で建造されたキズナ橋、果物寺と呼ばれるハンチェイ寺院、ゴム農園などがある。水位の下がる1月から6月までの時期に現れる竹橋は季節の風物詩ともなっている。プノンペンより北東、車で2.5時間程。

5 ▶ コンボンチュナン州/Kampong Chhnang

古都ウドンを経由していく、カンボジアで最も有名な陶器作りの小さな都市となり、田舎ならではの風景も存分に楽しめる。また、地元でも有名な巨石パワースポット「ブノンプレアティアット」もある。プノンペンより北、車で2時間程。

6 ▶ プレイベン州/Prey Veng

最古の都「ヴィヤダブラ」があったとされるパーブノン寺院が残る。また、2015年4月6日には日本のODA支援により全長5400mにも及ぶ「つばさ橋（ネアックルン橋）」が開通した。プノンペンより南東、車で1.5時間程。

TIP ▶ 移動方法/How to travel

それぞれの都市行きローカル長距離バスが、片道\$5程度で早朝から昼過ぎまで運行している。ただし、降車地から観光地までの移動はそ場でトゥクトゥクやバイクタクシー手配となり、地方では英語が話せる者も少ないため、プノンペンでの車両チャーターがお薦め。

プノンペン地図

9 サファリワールド

Kampong Chhnang 90Km
Pursat 166Km
Battambang 325
Banteay Meanchey 300Km
62

シルクアイランド 10

Kon Daek 5Km
Kampong Cham 110Km
Kampong Thom 170Km
Siem Reap 314Km
Kratie 315
Preah Vihear 325Km
Oddar Meanchey 445



プノンペン国際空港

キングフィールド

7

STUNG MEANCHHEY

BOENG TOMPUN

Wat Aek Porthean

To Khmao 5Km
Tonle Sap 50Km
To Koo 75Km

カンボジアの交通手段



- 1 トウトウトク / Tuk Tuk
- 2 市内バス / City Bus
- 3 タクシーボート / Taxi Boat
- 4 チャーターカー / Charter Car
- 5 シクロ / Cyclo

プノンペンやシェムリアップなどの主要都市での移動はトウトウトクが便利。カンボジアに来る前にスマートフォンの配車アプリ「パスアップ」や「グラブ」などをダウンロードしておくといい。

プノンペン市内の主要な道路を走っているエアコン完備の市内バス。距離は関係なく1回乗車につき1500リエル。空港から市内、市内からキリングフィールドなどへも行ける。ブルーの車体は日本のODA支援によりカンボジアに寄贈されたバスとなる。

プノンペンの北部から、カンダール州タクマウ間、トンレサップ河からバサック河を移動している水上タクシーボート。学生や会社員が利用する時間に運航している。通常の観光にはあまり利用することはないが、時間があるときに乗ってみるのもいい。

観光での移動は運転手付き車両チャーターが一般的。料金は距離や時間によって異なるが、セダン車でプノンペンだと半日40US\$、終日で65US\$程からとなる。ただし、空港送迎や市内でも郊外移動があると追加料金が発生するため事前に確認が必要。

ベトナムなどで見かける三輪自転車タクシー、シクロ。観光客が通常の移動ではあまり使うことはないが、観光ツアーとしての利用は増えている。ゆっくりと市内観光を楽しみたい方にはお勧め。

都市間移動

トウトウトク手配に
便利な配車アプリ

パスアップ



グラブ



- 6 長距離バン・バス / Van & Bus
- 7 飛行機 / Airplane
- 8 列車 / Train
- 9 スピードボート / Speed Boat
- 10 リバークルーズ / River Cruise

プノンペン-シェムリアップ間は片道5~15US\$程度、時間は5~6時間程で到着。プノンペン-プレアシハヌーク間は片道5~12US\$程度、時間は4~5時間程となっている。路線によってはナイトバスもあり、時間を節約したいときには便利。

プノンペン-シェムリアップ間は約30分、シェムリアップ-プレアシハヌーク間は約55分。航空会社は数社あり、料金はプロモーション価格で片道75~150US\$程となっている。航空会社により荷物重量制限などが異なるので予約時に注意が必要。

プノンペンからタイ方面へ続く北線（バタンバンまで片道約8時間）、プレアシハヌークへ続く南線（片道7時間、途中カンポット、タケオなど）がある。料金は4US\$からとリーズナブル。

プノンペン-シェムリアップ間で運行されているスピードボートだが、利用者の数により運航の可否が安定していない。シェムリアップ-バタンバン間は時期により運航。プノンペン-ベトナム・チャウドック間の国境越えスピードボートは毎日運航している。

年々人気が高まっているシェムリアップからベトナムまでの高級クルーズ。クルーズはトンレサップ湖、トンレサップ河、メコン河を移動し、船内はもちろん河沿いの村や都市でのエクスカッションが楽しめる。料金は催行会社、コースや時期により大きく異なる。

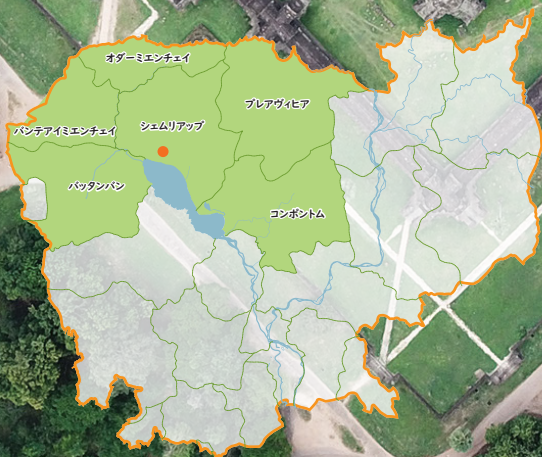


シェムリアップと周辺部

Around Siem Reap

世界遺産アンコールワットがあり、観光の街として発展しているシェムリアップ。世界的に知名度の高い高級ホテルグループの進出、クオリティの高いスパ、伝統、文化、様々なエンターテインメントや食事が楽しめる街であるため、カンボジアに訪れる観光客の多くはこの街に一度は滞在し、次のデスティネーションへと旅立って行く。

街からほんの少し郊外に出ると、ココナッツや椰子の木が伸び、昔ながらの農作業が行われている。どこかで見た風景のような、ゆったりとしたカンボジアの空気が満喫できるエリアである。





1 アンコールワット / Angkor Wat

12世紀前半にスーリヤヴァルマン2世により建造された大規模なヒンドゥー教寺院。東西約1.5km、南北約1.3kmの環濠に囲まれた寺院は、高さ65m、幅約190m、長さ600m程もあり、回廊にはヒンドゥー神話が美しく刻まれている。1992年に世界遺産登録された。



アンコール遺跡入場料

【料金】

1日券	37US\$
3日券	62US\$
7日券	72US\$

【営業時間】

5:00~18:00	アンコールワット
6:00~19:00	プノンバケン等
6:00~18:30	その他の遺跡

※ 3日券は7日以内に3日使用でき、7日券は1ヶ月以内に7日使用できる。



その他の遺跡入場料

コーケー遺跡群	15US\$
サンボレークック	10US\$
プレアヴィヒア	10US\$
プノクレン	20US\$
バンテアイチュマル	5US\$



2 バイヨン/Bayon

アンコールトムの中に位置するピラミッド型仏教寺院で、祠堂には多くの巨大な四面仏が刻まれている。また第一回廊壁面には、当時の庶民の生活とや隣国との激戦の様子、第二回廊には神々の話が描かれており、その細かさで美しさには目を奪われる。

3 アンコールトム内遺跡/Ruins in Angkor Thom

「大きな都」を意味する一辺約3kmの正方形の都城アンコールトム。中心にあるバイヨン寺院、王宮からはまっすぐな道が伸び、四方にある大きな門へと続く。当時の王宮は消失しているが、周辺には象のテラス、クリアン、バプーオンなど多くの遺跡が残されている。

4 アンコールトムの門/Gate of Angkor Thom

アンコールトムは、高さ約8mの城壁に囲まれ、巨大な四面菩薩像が彫られた五つの門により守られている。門前の濠に架かる橋には、蛇神ナーガの胴体を抱えて並ぶ神々と阿修羅像が並び、これは不老不死の薬「アムリタ」を誕生させる神話の様子を表している。

5 タプローム/Ta Prohm

1186年にジャヤヴァルマン7世により、母の菩提寺として建設された仏教寺院。寺院は発見された当時の面影を残し、ガジュマルの巨木が遺跡の到る所に絡みついている。映画「トゥーム・レイダー」のロケ地にもなっているので訪問前に一度見てみよう。

6 ニャックポアン/Neak Pean

12世紀後半に建造された仏教施設で「絡み合う蛇」の意味がある。中心の大池の周りに四つの小池があり、中央には祠堂と神馬像がある。また、小池には人・馬・獅子・象の顔彫像があり、それぞれの口から聖水が流れ出す仕組みになっていた。

7 プレアカン/Preah Khan

1191年にジャヤヴァルマン7世により建立された仏教寺院で「聖なる剣」という意味を持つ。チャム王に勝った地に建造し、父の菩提寺として祀ったとされる。周壁には多くのガルーダ像、また内部には円柱造りの二階建て建造物が残されている。



8



8



9



9



9



9



8



10



10



10



12



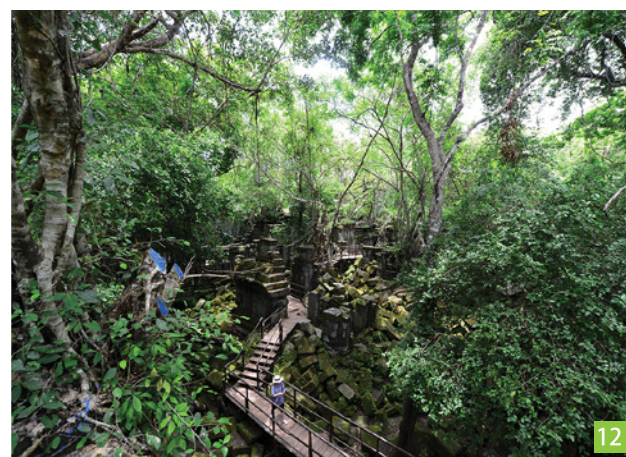
11



11



12



12

8 ▶ ロリュオス遺跡群/Roluos Ruins

8世紀末から9世紀にかけて栄えていた王都ハリハラウーヤ。ロレイ寺院、ブレアコー寺院、バコン寺院とあり、なかでも中心寺院であったバコン寺院の大きさは東西900m、南北700m程もある。

9 ▶ バンテアイスレイ/Banteay Srei

「女の砦」という意味を持つ寺院で967年に建立された。紅色砂岩とラテライトで造られており、深く刻まれた精緻な彫刻が見せる影と紅色の色调が美しい。「東洋のモナリザ」と呼ばれる彫刻が有名なほか、破風にはヒンドウ神話の彫刻も多く、様々な神が登場する。

10 ▶ クバルスピアン/Kbal Spean

11世紀中頃、クレン山西部の岩肌に刻まれた彫刻群。約200mにおよぶ川底、周辺には千本リングと呼ばれる彫刻、ヒンドウ教の神々、魔王の彫像など、多くの彫刻が点在している。ここから流れた水は聖水となり、この地に住む人々と大地を豊かにしていくという。

11 ▶ プーンコムヌー/Peung Komnou

ベンメリア近くにある巨大な岩石群には、「夢見るヴィシュヌ神」「ガネーシャ」「ガルダに乗るヴィシュヌ神」などが刻み込まれている。このエリアにあまり観光客が訪れることがないが、他ではあまりない特別な雰囲気を醸し出している。

12 ▶ ベンメリア/Beng Mealea

アンコールワットを平面型化したような遺跡で、祠堂の配置や十字回廊など、構造上の類似点が多いことから東のアンコールワットと呼ばれている。意は「花束の池」。遺跡には木々が茂り、寺院発見当時の雰囲気を味わうことができる。

TIP ▶ 観光の注意

遺跡の敷地内は全面禁煙となっており、飲食物の持ち込みは禁止されている。寺院によっては膝よりも短いショート、肩の見える衣類などでの訪問が禁止されている。またドローン撮影、三脚を使った商業目的の撮影も禁止となっており、見つかったら罰金、没収となる。



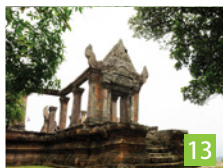
13



13



14



13



14



15



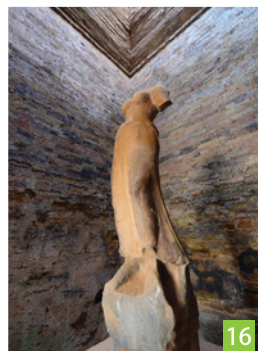
15



15



16



16



16

13 ▶ プレアヴィヒア / Preah Vihear

タイとの国境地ダンレック山脈の山頂約570m地点に建てられた寺院で、2008年に第二の世界遺産として登録された。参道には七つの頭を持った蛇の欄干が横たわり、第二階層には乳海攪拌や夢を見るビシュヌ神の彫刻が綺麗に残されている。(プレアヴィヒア州)

14 ▶ バンテアイチュマル / Banteay Chhmar

12世紀後半ジャヤヴァルマン7世により、亡くなった息子のための菩提寺として建立された。中央塔付近には四面仏像が数基残り、外壁には観世音菩薩(千手観音)、巨大な怪獣と戦う王など、興味深いレリーフが多く残っている。(バンテアイエンチェイ州)

15 ▶ コーケー遺跡群 / Koh Ker

第四の世界遺産。921年から941年頃まで王都として機能していた。ブラサットムと呼ばれる七段ピラミッド型寺院を中心に60以上の祠堂や貯水池跡等の遺跡が残っている。中でもブラサットプラム、ニエンクマウ、ブラサットムライ等が有名。(プレアヴィヒア州)

16 ▶ サンボープレイクック / Sambor Prei Kuk

第三の世界遺産。7世紀初頭、前アンコールの真臘時代の首都として建造された寺院群。森に囲まれた寺院群は大きめに分けて3つのグループから形成されており、八角形の祠堂、巨木が絡みつく祠堂、「空中宮殿」と呼ばれる彫刻等が有名。(コンボントム州)



1 トンレサップ湖/Tonle Sap Lake

東南アジア最大の湖であり、乾季と雨季では広さが約3倍変わる。観光地としてはチョンクニア、メイチュレイ、コンポンブルック、コンポンクリアンなどが有名。湖上には学校、教会、警察など、陸と同じような施設があり、人々は陸と変わらない水上生活を送っている。

2 プレックトアル/Prek Toal

世界中から野鳥愛好家が訪れるカンボジア有数の人気鳥獣保護区であり、シーズンになると百種類以上の野鳥がいる。雨季明け、水量の多い11月～1月の3か月間頃には、ペリカン、コウノトリ、サギ、アジアヘビウ、カモ、クロトキなどが見学できる。

3 プーンタノン/Peung Tanon

タン村にある奇怪な岩石群でカンボジアのプチャカバドリアと噂される。小高い丘から見渡す水平線と奇岩群、美しい光景が見られ、週末には地元の人々がピクニックに訪れる人気スポットとなっている。

4 プノンクーレン/Phnom Kulen

信仰の場になっており、カンボジア全土から多くの人々が参詣する。見どころとして、川底に眠る神々と千本リング、20mの高さの滝、岩上に金色に輝く巨大涅槃像プレアアト、点在する仏像を楽しむトレッキングコース、山中に眠っている大きな象の彫像などがある。

5 野生動物保護センター/ACCB

クバールスピアン近くにあるアンコール野生動物保護センター。絶滅の危機に瀕している動物を保護調査し、繁殖を試み、現地の人々に動物保護の大切さを伝えている。施設見学は月曜日から土曜日の9時と13時からそれぞれ90分程行っている。

6 バタフライセンター/Butterfly Center

地域住民の雇用、教育を促すために運営されるバタフライセンターとなり、蝶の繁殖、飼育などを行っている。敷地内ではカンボジア原産の蝶が舞っており、タイミングが良ければナナフシなど珍しい昆虫などの姿も楽しめる。



8



7



7



8



10



10



11



11



9



11



9



8



11



11

7 体験/Experience

シエムリアップではアジア旅行ならではの象乗り体験や、アンコール時代の船を模したゴンドラクルーズ体験、アンコールワットを空から眺めることができる気球・アンコールバルーンやヘリコプターなどが楽しめる。

8 アクティビティ/Activities

あまり体験することができない電動二輪立ち乗りセグウェイや、アンコールの森の上を滑りおりていくジップライン、馬に乗りながらシエムリアップののどかな風景が楽しめる乗馬など、さまざまなアクティビティが楽しめる。

9 スポーツ/Sport

ニックファルドが設計したアンコールゴルフリゾート、日本人設計のブーヨンカントリークラブ、コース内に遺跡が残されているポケットラカントリークラブでゴルフが楽しめる。また日本人選手も在籍している日系サッカーチームがあり、サッカー観戦ツアーなどもある。

10 学び/Study

遺跡や文化が好きな方には、アンコール国立博物館、シハヌークアンコール博物館、パノラマ博物館、伝統テキスタイル博物館、カンボジア文化村などがあるほか、カンボジアの内戦の歴史に興味があるなら、地雷博物館、戦争博物館、キリングフィールドなどがある。

11 リラックス/Relax

遺跡見学の合間や観光後にはリラックスタイムを満喫。疲れを癒すならクメール伝統マッサージやスパ、ゆったりした時間を楽しみたいなら高級ホテルでのアフタヌーンティ、食に興味ある人にはクメール料理教室など、カンボジアならではの特別な時間が楽しめる。

TIP 旅のヒント！

シエムリアップでは遺跡観光の合間に様々なアクティビティやスポーツ、乗り物体験、スパやアフタヌーンティなどが安価に楽しめる。事前予約が必要なものも多いので、興味があるものは早めに予約（遅くても前日の17時まで）を入れておこう。



14



15



13



12



12



14



13



12



15



12



14

12 ショッピング/Shopping

13 ナイトライフ/Night Life

14 伝統舞踊ショー/Cultural Performance

15 エンターテインメント/Entertainment

旅行者に人気が高いのがオールドマーケットとなり、布製品、彫刻、銀細工、衣料品などのお土産品が購入できる。その他には地元の人々が生鮮食品や生活用品を購入するために集まるルー市場などがある。また、ナイトマーケットも市内に点在している。

夕日が落ち始める頃には、多くの旅行者がパブストリート周辺に集まってくる。このエリアにはクメール料理店はもちろん、多くの各国料理の店、バー、土産物屋、マッサージ店、ナイトマーケットなどが軒を連ねているので散策してみよう。

クメール伝統舞踊として有名なアプサラダンスや民族ダンスを、美味しいクメール料理を食べながら楽しむことができる。また、シエムリアップ発祥の伝統影絵パフォーマンスである、スバエクトイ、スバエクトムショーなども人気が高い。無形文化遺産登録されている。

アンコールトム内の壁画にも描かれている、アクロバティックな動きで観客を魅了する「カンボジアサーカスファール」。このサーカスはカンボジア内戦時の難民キャンプが発祥となり、バタンバン州にはサーカスを含むアートスクールがあり訪問見学も可能。

シェムリアップ近郊

Around Siem Reap

シェムリアップ周辺にはバタンバン州、バンテアイミエンチェイ州、オダーミエンチェイ州、プレアヴィヒア州、コンポントム州などがある。それぞれ片道2〜3時間程度となり時間が許せば1泊2日から2泊3日程の観光が薦め。それぞれ地域にはクメール遺跡、野鳥保護区やハス畑などもあり、様々な滞在を楽しむことができる。



1



1



1



1



1



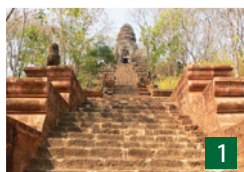
2



1



1



1



2



1



1



3



2



3



4



5



2

1 ▶ バタンバン州/Battambang

カンボジア西部にある大都市。山上に建つワットバンナン寺院、竹で作られたバンブー列車、信仰の場であるプノンサンポー寺院、サーカス学校、ワイナリー、コンビンアイ貯水池、夕方になると数百万羽のコウモリが空を舞うバットケイなどの観光が楽しめる。

2 ▶ バンテアイミエンチェイ州/Banteay Meanchey

カンボジア北西部に位置する小さな都市。タイとの国境ポイェト、バンテアイチュマルなどの大型クメール寺院、人力で掘られた巨大貯水池トラッピーアントモー貯水池、野鳥保護区、プノスロックの機織り村、ホームステイなどが楽しめる。

3 ▶ オダーミエンチェイ州/Otdor Meanchey

カンボジア北部に位置する小さな都市。タイとの国境にあるクメール遺跡であるタモアントム寺院、タクロバイ寺院などのほか、内戦のきっかけとなったボルボトの墓、一風変わった自然の土山が訪れる者の目を楽しませるロリュオストムなどの観光地がある。

4 ▶ プレアヴィヒア州/Preah Vihear

カンボジア北部に位置し、タイと国境を有している。主な観光地では世界遺産プレアヴィヒア、巨大な七段ピラミッド寺院コーケー遺跡、大型寺院プリアカンコンボンスヴァイなどがあるほか、野鳥保護区や機織り工房、滝などがある。

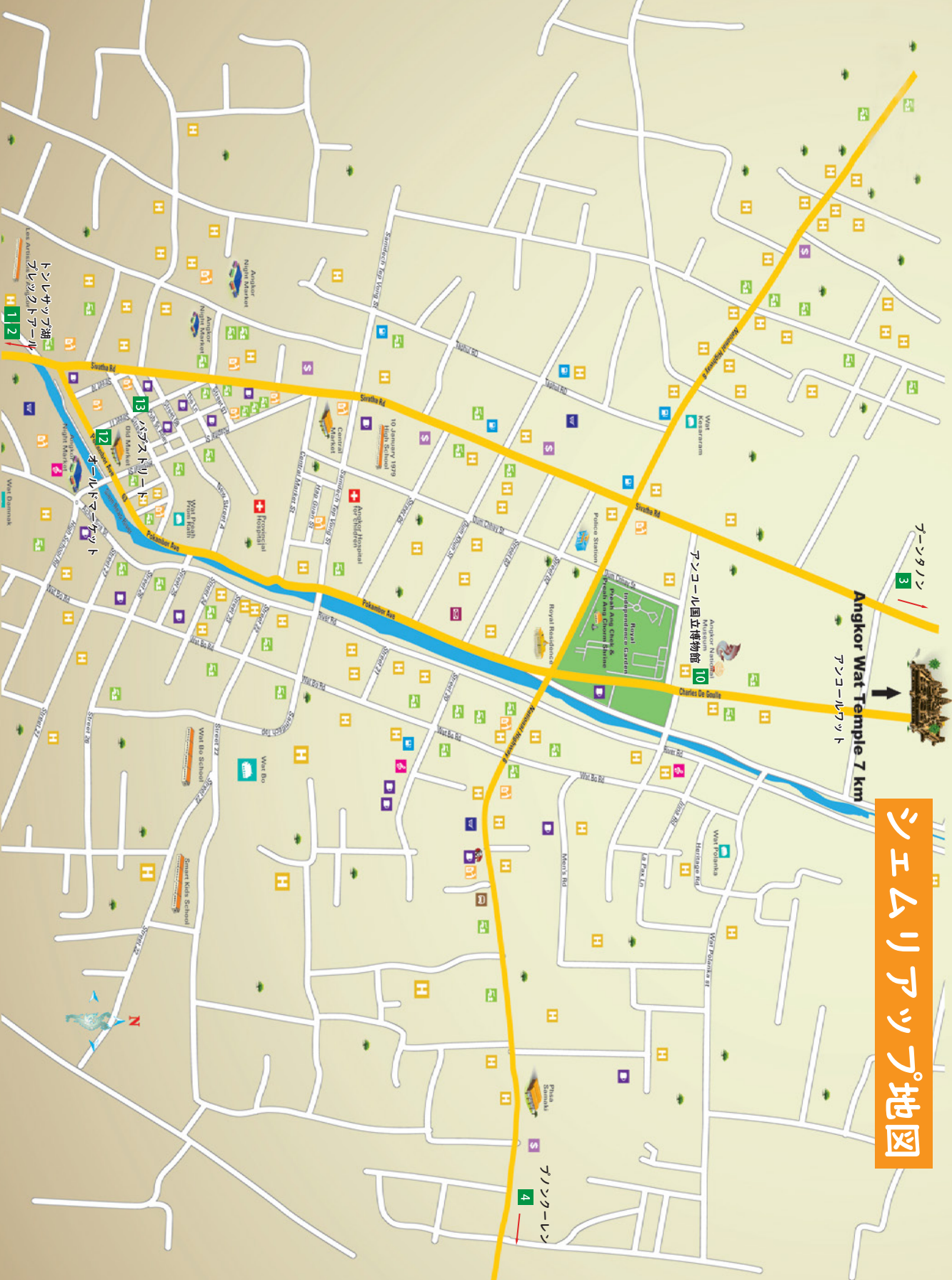
5 ▶ コンポントム州/Kompong Thom

カンボジア中央部に位置する都市であり、プノンバンシェムリアップ間移動時の休憩ポイントとして立ち寄ることが多い。主な観光地としては世界遺産サンポーブレイクック、自然岩に仏像が彫りこまれたプノントウック、機織り工房、カシューナッツ工房などとなる。

シエムリアップ地図



Angkor Wat Temple 7 km
アンコールワット



ビーチリゾート

Beach Resort

あまり知られていないがカンボジアにもビーチリゾートがある。ほんの数年前までは手つかずのビーチが楽しめていたプレアシハヌークだが現在は中国からの投資により多くのカジノやホテルが建設されている。

他にも海と面したカンポット州、ケップ州、コックコン州、またそれぞれに属した小島にはまだまだ開発の手は届いておらず、美しいビーチが楽しめる。とは言え、近年は世界的に有名な高級リゾートホテルも建設されており、満足度、クオリティの高い滞在と、ダイビングやスノーケリング、小島巡り、各種マリンアクティビティなども楽しめる。



プレアシハヌーク州

Preah Sihanouk

旧名称コンボンソム/シハヌークビル。プノンペンより南西部に位置し、タイランド湾に面した港湾都市である。国際港として開発が進んでおり、港近くには経済特別区も建設されている。また、タイランド湾沖ではダイビングや小島巡りなどが楽しめ、世界中からのリゾート客誘致を目的とした観光整備が進められている。



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11

1. 旅行者に人気の高いのが、ロン島、ロンサムレム島などの小島。まだまだ手つかずのビーチには洒落たバンガローや高級リゾートなどもあり、多くの旅行者も訪れる。2. 街のランドマークとなるゴールデンライオンを中心に、飲食店、宿泊施設、カジノなどがある。郊外にはイルカなどが見られるレラム国立公園、地元の人々が集まるクハールチャイ湾などもある。3. 4. 5. 6. 小島ではビーチでのんびりしたり、ビーチトレッキング、ナイトライフなども楽しめる。一部の島では夜になると海ほたる見学ツアーなどもある。7. 8. フィッシングで大物を狙おう。9. ダイビングでは様々な魚が楽しめる。10. ビーチではカヤック、マリッジットなど、様々なマリニアクティビティが楽しめる。11. ロン島、ロンサムレム島には、シハヌークビルからは高速艇で片道45分ほどで到着。

カンポット州

Kampot

カンボジア南西部に位置し、タイランド湾に面した静かな街。街を隔てるように川が流れており、それを望むようにフランス植民地時代の建築物が並んでいる。観光ではボーコー国立公園、コンボントラッチ寺院、洞窟の中にあるアンコール遺跡、野鳥保護区などのほか、特産物では塩、胡椒、ドリアン等が有名。



1



2



3



4



5



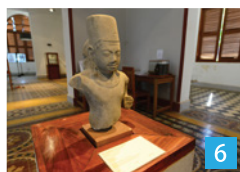
7



8



9



6



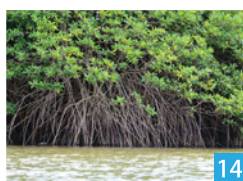
10



11



12



14



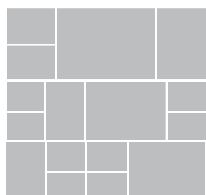
13



15



16

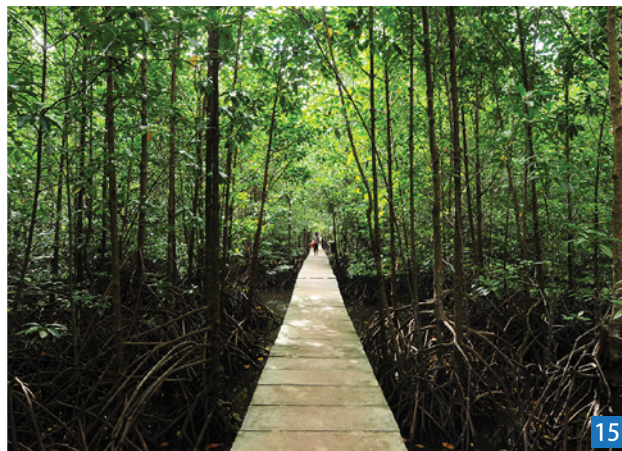


1. 廃墟となった教会の内部（ボーコー国立公園）2. 洞窟を抜けると神聖な空間へと繋がるコンボントラッチ寺院。3. フランス植民地時代に避暑地として多くの人々が訪れていたボーコー国立公園には、当時の趣をそのままに古い教会が残されている。4. 山頂にある巨大なロックジェイマオ像（ボーコー国立公園）5. プレアンコール期のレンガ造りの寺院が残るプノンチュヌク。同様にプノントートン、プノンケヤンなどの洞窟寺院も残っている。6. 博物館には発見された彫像が保管されるほか、カンポットの歴史などが紹介されている。7. 9. 例年1月頃から4月頃（天候、雨量により異なる）までアンロンブリン野鳥保護区では体長1.8メートルにもなるオオヅルを始めとした、多くの野鳥が見学できる。8. 新しい街のシンボルであるタツノオトシゴ像。10. カンポットの街の象徴となるドリアンモニュメント。11. 12. 13. カンポットは世界でも有名な胡椒の原産地であるほか、フルーツの王様ドリアンなどのフルーツファームなどもある。また、1930年代に中国より紹介された技術を用いた塩田があり、11月～5月頃には塩田見学が楽しめる。14. 15. マングローブの森で有名なトロピアンサンカエでは、植林体験、フィッシング、料理教室、カヤック体験なども楽しめる。16. 毎夕楽しめるサンセットリバークルーズ（カンポット市内）

ケップ州

Kep

カンボジア南西部に位置し、タイランド湾に面した小さなリゾート。パンガローが並ぶトンサイ島や小さなビーチがあるため、週末や連休時にはカンボジア人旅行者で賑わう。マングローブの森、カニ市場、ブンソーシア鍾乳洞、ケップ国立公園などがある。



カンボジア南西部に位置した港町でタイとの国境エリアとなる。手付かずの自然と野生生物の宝庫として、エコツーリズムスポットとして注目されている。マングローブの森ピラムクラサップ、タットイ滝、チーバット村、サファリワールドなどがある。

コッコン州

Koh Kong

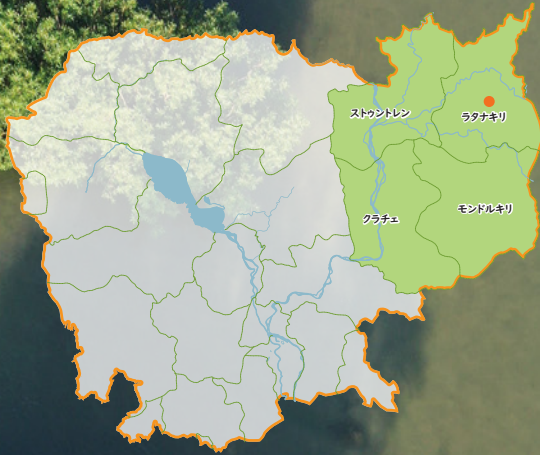
【ケップ州】1. 街に面しているケップビーチ。地元の人たちが海水浴に訪れている。2. ケップはカニ料理が有名。カニ市場で購入して食べてみよう。3. 薄いグリーンとオレンジのボートでフィッシングが楽しめる。4. 海上にあるケップのシンボル、カニの像。5. 白象の鍾乳洞と呼ばれるブンソーシア 6. プチトレッキングが楽しめるケップ国立公園。7. 港から30分ほどで到着するトンサイ島。パンガローステイも楽しめる。【コッコン州】9. 10. タイとの国境エリアにあるサファリワールド。アシカショーやクロコダイルショーなどが楽しめる。11. コッコンの街と国境を繋ぐ1900mの長さを誇る橋。12. 街から少し離れた場所にあるタットイ滝。13. カンボジア最大のマングローブの森、ピラムクラサップ。14. タットイ滝からタットイ川クルーズが楽しめる。15. ピラムクラサップではマングローブの木漏れ日散策、クルーズが楽しめる。

エコツーリズム

Eco Tourism

手付かずの森が残り、独自の言語や文化を持つ山岳民族が多く暮らすラタナキリ州、モンドルキリ州。この地に住む山岳民族は野生の象を飼いならし、農作業や観光にも利用している。一部の民族には水牛を生贄として先祖に捧げるといった風習も残っており、異文化体験の地として海外からの旅行者だけでなく、地元旅行者も多く訪れている。

また、大河メコンが流れるストウントレン州、クラチェ州には絶滅危惧種であるメコン河イルカが生息し、見学も楽しめる。



ラタナキリ州

Ratanakiri

カンボジア北東部に位置する都市であり、ベトナム、ラオスと国境を有する。州人口の内75%は山岳民族で形成されており、部族ごとに異なった生活様式、言語、文化が残っている。手付かずの自然と野生生物の宝庫であるこの地はエコツーリズムの宝庫であり、人気の観光地。ラタナキリの意味は「宝石の山」である。



1. 高さ12m程のカチャン滝。水量があると子供たちが滝の上から楽しそうに飛び込む。2. ラタナキリには多くの山岳民族が住んでいる。一部の村ではアニミズムを信仰しており、村はずれの森の中に先祖の墓を作る。家屋のような墓の入り口には木製の男女の像が佇み、墓守をしている。3. 高さ10m程のカティエン滝。近くには象を飼育するクルン族が住んでおり、象乗り体験も楽しめる。4. 特徴のある伝統的な家屋。5. 一部の観光地では少数民族による伝統楽器の演奏が楽しめる。6. 水量が多い時期は象で川を渡ることも。7. 伝統ダンスを披露する少数民族の人々。8. バンルン中心地近くにはエイセイパタマ山があり、体長10m程の涅槃像がある。9. 森の中にあるカチ族の墓地。10. 近年は少なくなったが、一部の村では未だ上半身裸で女性たちは生活をしている。11. 少数民族による伝統的な荷籠作りの様子。12. 精霊の住む神聖な空間と言われるヤックロム湖。山岳民族の文化などを紹介する小さな博物館もある。13. 高さ25mもあるチャオン滝。14. 伝統的な荷籠を背負い、家のお手伝いをする山岳民族の子供。15. ラタナキリでは宝石鉱山があり、ラタナキリブルーと呼ばれるジルコンが採掘されている。16. 街には山岳民族のモニュメントがある。

モンドルキリ州

Mondulkiri

カンボジア東部に位置する小さな都市。州人口の80%近くは十以上の山岳民族からなり、部族ごとに異なった生活様式、言語、文化が残っている。モンドルキリの意味は「山に会う」となり、その名の通り、その地は標高800mの山が連なる高原地域となる。高原リゾート、エコツーリズムの場として注目されている。



1. 山岳民族と象が共存しており、象と一緒に森林トレッキングや水浴びなどが楽しめる。2. 街から5kmほど離れたモノロム滝。週末には地元の人々が多く訪れる。3. プールン村、ブータン村には伝統的な家屋が並ぶ。4. 少数民族の日常生活。5. 美味しいコーヒーを楽しむことができるコーヒープランテーション。6. 街のランドマークともなっているコーブレイ(森の牛)の彫像。7. 少数民族の家庭で昔から作られている自家製醸造酒は市場などで購入できる。8. 街から少し離れた村には、伝統的な家屋が点在している。9. 針葉樹林が広がっている高原エリア。10. カンボジア国内最大級の三段滝であるプースラー滝。11. 多くの観光客が参加するエレファントトレッキングツアーでは、日帰り、1泊2日ツアーなどが楽しめる。

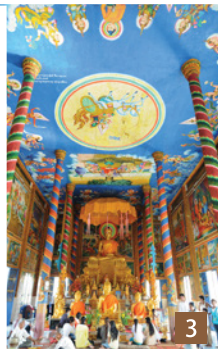
クラチェ州

Kratie

カンボジア東部に位置する小さな都市でメコン河に面している。観光は世界でも珍しいメコン河イルカが見学できるリパークルーズ、メコン河にあるトロン島でのサイクリングや村落体験、滞在などのエコツーリズムが楽しめる。



1



3



4



5



2



6



7



8



9



10



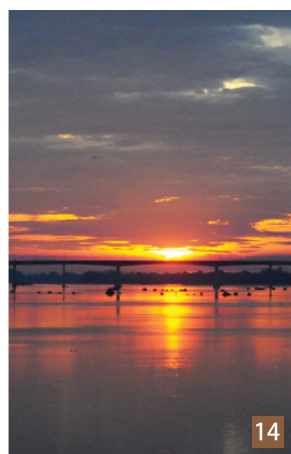
11



12



13



14



15

カンボジア北西部に位置し、メコン河に面している都市。この街ではメコン河の瀑布ソピアミット滝や河イルカ見学、野鳥保護区での野鳥見学など、自然を中心としたエコツーリズムが楽しめる。

ストウントレン州

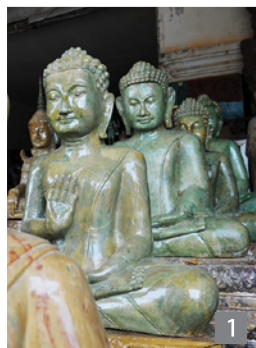
Stung Treng

【カンボット州】1. 百本以上の柱で建設されたムオイロイ(百の意味)寺院。2. 地獄の様子が描かれているブノンソンボック寺院。3. ムオイロイ寺院内部には仏陀の一生が描かれている。4. メコン河に生息するイラワジイルカ。乾季だと100%に近い確率で見学できる。5. メコン河の夕日。6. 地元民に人気のカムピリゾート。7. メコン河にあるトロン島ではホームステイも楽しめる。8. 築200年を超えるローカーカンダール寺院。【ストウントレン州】9. シルク機織り工房。10. プレアルムケル村からのメコン河クルーズ。11. ラオスとの国境近くに残るモニュメント。12. 大きな牛の彫像が残るプレアコー遺跡。13. メコン河の広大な瀑布が望めるソピアミット滝。14. セコン川に沈む夕日。15. メコン河の濁流にも負けず育つ大木。乾季にはスピードボートに乗ってメコン河大木クルーズが楽しめる。(プレアルムケル村)

その他のエリア

Other Cities

カンボジアには1都24州があり、観光では大きく分けてプノンペン周辺部の都市エリア、シェムリアップ周辺部の遺跡、文化エリア、海に面したビーチリゾートエリア、東部のエコツーリズムエリアと分かれている。それら以外の州でもその地ならではの体験や観光が楽しめるので、時間があればぜひ訪れてほしい。



1 ▶ **ポーサット州/Pursat**

プノンペンより北西部に位置する都市。特産物はオレンジと大理石となり、観光ではトンレサップ湖の一部であるコンボンルーン水上生活見学などが楽しめる。街の中心には川が流れ、その中心にある小島はサンボーメアス島と呼ばれ、人々の信仰の場となっている。

2 ▶ **パイリン州/Pailin**

プノンペンより北西部、バットアンバン州西部に位置する小さな都市。街を見下ろすように建つプノンヤー寺院が最も有名な観光地となるほか、もともと宝石の産地としても有名なため、宝石採掘体験なども楽しめる。

3 ▶ **トボークモム州/Tboung Khmum**

プノンペンより東部、コンボンチャム州と隣接する州。2013年にカンボジア24番目の州として新しく誕生。観光資源はあまり多くなく、メモット円形集落博物館、ゴム農園、クメール遺跡であるプレイノコールなどがある。

4 ▶ **スヴァイリエン州/Svay Rieng**

プノンペンより東部、ベトナムとの国境を有する都市。目立った観光地は少なく、州人口の多くは農業に従事している。国境バベット地域には経済特別区があり、様々な工場が建設されているほか、カジノも多い。

祝祭日と各種イベント

カンボジア祝祭日

1月1日	新年
7日	虐殺政権からの解放の日
3月8日	国際女性の日
4月14日～16日	クメール正月 ※
5月1日	メーデー/国際労働者の日
毎年変動	仏誕節/ピサック・ボーチャー祭 ※
毎年変動	王室始耕祭 ※
14日	シハモニ国王誕生日
6月18日	モニク前王妃誕生日
9月24日	憲法記念日
毎年変動	盂蘭盆 /プチュン・バン ※
10月15日	ノロドムシハヌーク前国王記念日
29日	シハモニ国王即位記念日
11月9日	独立記念日
毎年変動	水祭り ※
12月29日	カンボジア平和の日

※マークがついている祝日は、年によって日にちが異なります。

カンボジア・国内イベント

2月頃	アンコールウルトラトレイル
2月頃	ジャイアントパペットパレード
3月頃	リバーフェスティバル
3月頃	シハヌークビル国際ハーフマラソン
4月14日～16日	ソングランタ(正月のお祭り)
6月20日～21日	国際ヨガデー
6月中～下旬	プノンペン国際ハーフマラソン
7月頃	エレファントトレイル
8月上旬	クメールエンパイアマラソン
11月頃	シーフェスティバル
11月頃	水祭りボートレース
12月上旬	アンコールワット国際自転車レース
12月上旬	アンコールワット国際ハーフマラソン

※例年の催行日より記載。諸事情によりイベントが開催されないこともございます。

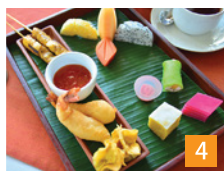


1.王室始耕祭 2.水祭りボートレース 3.独立記念日 4.プチュンバン
5.国際ヨガデー 6.アンコールワット国際自転車レース 7.エレファントトレイル(キリロム国立公園) 8.ジャイアントパペットプロジェクト

クメール料理

Khmer Food

ベトナムだと香草、タイだとスパイシー、ではカンボジア料理は？と聞かれるとココナッツミルクと醤油ベースのまろやかな料理と答えてしまふ。気軽に通える屋台からローカル鍋屋、そして本格的な味が楽しめる高級ホテルまで、ここでしか楽しめないカンボジアの食を満喫しよう。



1. 王宮の食が満喫できるクメール宮廷料理コース。2. カンボジアの朝の定番料理「クイティウサッコ」。3. ほんのり甘いココナッツミルクテイストのクメールカレー。4. クメールデザートはアフタヌーンティとしても楽しめる。5. カンボジア風サンドイッチ「ナムバンパター」。6. 地元の人たちのパワーランチ「バイコードット」。7. おつまみとしても人気の揚げ春巻きはピリ辛ソースにつけて。8. 人気の高い定番甘味と言えば、かぼちゃプリン。9. 香草、小エビ、米麺がライスペーパーに包まれている生春巻き…。10. 本格的な地元の味を楽しむなら、「ソムローマチュルン」。少しだけ酸っぱいレモングラス風味。11. クメール定番料理の一つであるマンゴーサラダ。ほど良い酸味が癖になるかも。



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22

12. 「コーコーヌパン」。バケットをスープに浸して食べる。13. カンボット産の胡椒とともに楽しむ「チャーボンキアチアムオイマレツ」。14. 朝食定番メニユ、豚のせご飯「バーイサツチュル」。15. 様々な食材を葉っぱにくるんで食べる「ミヤンカム」。16. 「バーイサツモアン」、からりと揚げたチキンを白米、スープ、お漬物と一緒に楽しむ。17. 二日酔いの朝にもちょうどいいお粥「ポボー」。18. カンボジア料理と言えばこれ! ほんのりと甘いココナツミルクで煮込んだ白魚料理「アモック」。19. 地元の屋台などで楽しめる焼き鳥「モアンアン」。20. 昔ながらの土鍋をみんなでつつく「チュナンダイ」。21. 伝統的な朝食、ココナツミルクスープに米麺が入った「ノムバンチョックソムロークマエ」。22. カンボジアでしか楽しめないクメール料理を楽しもう。

カンボジアの歴史

▼

前アンコール時代

BC4200～1500年 バッタバン地域、コンボンチュナン地域などに人類が生活していた痕跡が残っている

1～2世紀頃 扶南王国誕生。インドからヒンドウ教と大乘仏教が伝わる

6～8世紀 扶南の属国として、クメール人による真臘(しんろう)が誕生。イーシャナヴァルマン1世率いる真臘が扶南を併合、イーシャナプラに王都を構える。王の死後、北の陸真臘、南の水真臘に分裂。ジャワ王国のシャイレンドラ朝に下る

▼

アンコール王朝

802年 ジャヤヴァルマン2世が独立を宣言し、王として即位式を行う。陸真臘、水真臘を再統一し、アンコール王朝が始まる

9世紀末 インドラヴァルマン1世がハリハララヤ王都を定める

889年 ヤショーヴァルマン1世がヤショーダラプラ王都を定める

1113年 スーリヤヴァルマン2世が即位しアンコールワット建立

1181年 ジャヤヴァルマン7世がアンコールトムを建立

1431年 アユタヤ王朝の攻撃によりアンコール王都陥落。ポニャヤット王と共に首都をプノンベン近郊に遷都

▼

後アンコール時代

17～18世紀 シャム王国とベトナムからの侵略・干渉が絶えず、カンボジア国内は混乱に陥る。朱印船貿易時代には、ウドン近郊に日本人町が誕生する

1835年～ アンメイ女王がベトナムに行政権を奪われる

1841年 国土が併合され、国王が国内に不在となる

1845年 アンドウオン王が即位

▼

フランス植民地時代

1863年 フランスと保護条約を結び、フランスの保護国となる

1887年 カンボジアが仏領インドシナに編入される

1907年 シャム王国(タイ)よりアンコール地方を取り戻す

1940年 日本軍がインドシナに侵攻、カンボジアにも駐留

1945年 シハヌーク王がカンボジアの独立を宣言する

1946年 再びフランスの保護下となる

▼

シハヌーク時代

1953年 シハヌーク王の独立運動。完全独立を果たした後、「カンボジア王国」となる。その後アメリカと国交断絶を宣言
1955年 シハヌーク王が非同盟・中立外交政策を表明。王位を父、ノロドム・スラマリットに譲渡。シハヌークは「人民社会主義共同体」を結成、首相兼外務大臣となる。日本・カンボジア友好条約締結

1956年 東南アジア条約機構加盟拒否

1960年 スラマリット王逝去。シハヌークは国家元首に就任し、王位は不在となる

1965年 アメリカ合衆国と国交断絶を宣言

1970年 ロンノル將軍のクーデターにより、外遊中のシハヌークは国家元首を解任される

▼

ロン・ノル時代

1970年 「クメール共和国」の樹立。シハヌークは中国に亡命し「カンブチア民族統一王国政府」を樹立。ポルポト派は共産主義勢力「クメールルージュ」を結成、シハヌークと組み、打倒ロンノルを目指し、内戦に突入

1971年 アメリカがロンノル政権支援として、カンボジアに侵攻。軍事独裁体制を宣言

1973年 アメリカがベトナムから撤退、ロンノル勢力が衰える

1975年 弱体化したロンノルは亡命、同時期にベトナム戦争が終結。クメールルージュが首都プノンベンに入る



▼

ポル・ポト時代

1975年 ポルポトは共産主義国「民主カンブチア」を樹立し、シハヌークを幽閉。その後79年までに170万人(推定)を超す国民の虐殺・粛清を行う

1978年 ソビエト連邦寄りであるベトナムと国交断絶。カンボジアとベトナムの間で国境紛争(1991年に解決)。ベトナム軍の侵攻により、ポル・ポトの虐殺政権は収束する

▼

ヘン・サムリン時代

1978年 元ポルポト派のヘンサムリンが「カンブチア民族救国統一戦線」を結成、ベトナム軍と共にプノンベンを攻略。また、カンブチア人民共和国を樹立し、領土の大半を支配するも、世界各国からはベトナムの傀儡政権であるとされ承認ず

1988年 ベトナム軍がカンボジアより撤収

1990年 「カンボジアに関する東京会議」開催

1991年 カンボジア和平パリ協定が開催。国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)の設置が決定し、20年に及んだ内戦が終結。カンボジア最高国民評議会(シハヌーク議長)が一時的に結成される

▼

カンボジア王国

1992年 国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)によりPKO開始。立憲君主制が採択され、新生「カンボジア王国」が樹立。二人首相制連立政権となり第一首相はラナリット(フンシンベック党)、第二首相がフンセン(カンボジア人民党)となる。シハヌークが再び国王に即位

1993年 UNTAC暫定統治が終了

1997年 フンシンベック党とカンボジア人民党が武力衝突。第一首相のラナリットは失脚しパリに逃亡する

1998年 ポルポト死亡。第二回総選挙が行われ、フンセン(カンボジア人民党)が首相に就任

1999年 東南アジア諸国連合(ASEAN)に加盟

2001年 特別法廷が設置されポルポト派が裁かれることとなる

2003年 第三回総選挙が行われ、フンセン率いるカンボジア人民党が首議席を獲得する

2004年 フンセンが正式に首相に再就任し新内閣を発足。シハヌーク王が退任、息子であるノロドム・シハモニが国王に即位

各種連絡先

日本国内

▶ 在日本カンボジア王国大使館

Add: 東京都港区赤坂8丁目6-9
Tel: 03-5412-8521

▶ 在大阪カンボジア王国名誉領事館

Add: 大阪市北区茶屋町12-6 エスパシオン梅田ビル9階
Tel: 06-6376-2305
Web: www.cambodia-osaka.com

▶ 在名古屋カンボジア王国名誉領事館

Add: 愛知県名古屋市中区葵3-14-20 エルシビル3F
Tel: 052-979-5578
Web: cambodia-hc-nagoya.com

▶ 在福岡カンボジア王国名誉領事館

Add: 福岡市中央区天神1丁目4-1 西日本新聞会館15階
Tel: 092-717-1255
Web: www.fukuoka-cambodia.jp

▶ 在札幌カンボジア王国名誉領事館

Add: 北海道札幌市中央区北4条西11 SOCBビルディング2階
Tel: 011-231-6547

▶ 在仙台カンボジア王国名誉領事館

Add: 仙台市青葉区上杉1丁目6番6号 イースタンビル701号室
Tel: 022-393-4861
Web: www.sendai-cambodia.com

▶ 在日本国カンボジア王国政府観光局

Web: cambodiatourism.or.jp

▶ カンボジアフェスティバル実行委員会

Web: www.cambodiafestival.com

▶ 在日カンボジア留学生協会

Web: www.csaj-khmer.org

▶ 在日カンボジアコミュニティ

FB: 在日カンボジアコミュニティ-362129833955084

▶ 日本カンボジア協会

Add: 東京都港区虎ノ門1丁目16番6号 虎ノ門RAPO-TOビル UCF7階
Web: japan-cambodia.or.jp

プノンペンエリア

▶ 在カンボジア日本大使館

Add: No. 194, Norodom Blvd., Sangkat Tonle Bassac, Phnom Penh
Tel: 023-217161~4 (代表)
061-799883 (平日昼休み・緊急時)
023-217161 夜間及び休館日・緊急時)
Open: 平日8:00-12:00/14:00-16:30
Web: www.kh.emb-japan.go.jp

▶ JETRO プノンペン

Add: L6 Vattanac Capital, Suite 0609 No. 66 Preah Monivong Blvd, Phnom Penh
Tel: 023-966-253
Web: www.jetro.go.jp/jetro/overseas/kh_phnompenh/

▶ カンボジア日本人商工会

Add: L6 Vattanac Capital, Suite 0609 No. 66 Preah Monivong Blvd, Phnom Penh
Tel: 023-966-251
Web: jbac.info

▶ カンボジア日本人会

Web: www.jacam.cc

▶ プノンペン日本人学校

Web: www.jacam.cc/jspp

▶ プノンペン補習授業校

Web: www.jacam.cc/ppjs

▶ JICAカンボジア事務所

Add: 16th and 17th floors, Keystone Building, #146 Norodom Boulevard, Phnom Penh
Tel: 023-238-050
Web: www.jica.go.jp/cambodia/office/index.html

▶ プノンペン市警察外国人課

Tel: 012-888-851

▶ プノンペン市警察ツーリストポリス

Tel: 012-942-484

▶ サンライズジャパンホスピタル

日本人医師、スタッフ常駐の日系総合病院。
Add: #177E, Kola Loum Street, Group 2, Phum 2, Chroy Changvar, Phnom Penh
Tel: 023-260-152
023-260-151 (緊急時)
Web: www.sunrise-hs.com

▶ ケンクリニック

日本人医師、スタッフ常駐のクリニック。
Add: #14A, St.370, Sangkat Boeung Keng Kong I (BKKI), Phnom Penh
Tel: 023-223-843, 023-223-844
Web: www.kenclinic-cambodia.com

▶ サンインターナショナルクリニック

日本人医師、看護師常駐の日系総合クリニック。
Add: No. 18, St.302, Sangkat Boeung Keng Kong I, Khan Chamkamon, Phnom Penh
Tel: 069-268-060 / 023-956-777
Web: siclinic.com

▶ ラッフルズメディカルカンボジア

Add: #161, St 51, Sangkat Boeung Raing Khan Daun Penh, Phnom Penh
Tel: 023-216-911
Web: rafflesmedical.com.kh/ja/

▶ ロイヤルプノンペン病院

空港近くにある総合病院。日本人通訳在籍。
Add: No. 888, Russian Confederation Blvd. Sangkat Toeuk Thla, Phnom Penh
Tel: 023-991-000
Web: royalphnompenhospital.com

▶ デンリッシュデンタルクリニック

日本人歯科医常駐のクリニック。
Add: #08A, st398 BKK I, Phnom Penh
Tel: 023-901-200
Web: www.facebook.com/denrichebbk

▶ マリスデンタルクリニック

日本人歯科医常駐のクリニック。
Add: 13th floor, 445 Preah Monivong Blvd (93), Phnom Penh
Tel: 012-513-222
Web: malis-dental.com

シェムリアップエリア

▶ 在シェムリアップ領事事務所

Add: Sokha Palace Siem Reap Hotel, Road 60, Sangkat Slorkram, Siem Reap
Tel: 063-963-801~3
Open: 平日9:00-11:30/14:00-16:30

▶ アンコール日本人会

Web: angkorja.jimdo.com

▶ シェムリアップ市警察外国人課

Tel: 012-821-183

▶ シェムリアップ市警察ツーリストポリス

Tel: 012-402-424

▶ ロイヤルアンコール病院

空港近くにある総合病院。日本人通訳在籍。
Add: National Route #6, Phum Kasekam, Khum Sra Ngea, Siem Reap
Tel: 063-761-888, 012-235-888
Web: www.royalangkorhospital.com

▶ アンコール共生病院

地元民向け日系病院。日本人看護師、歯科医在籍。
Add: Street Bun Rany Hun Sen, Chanlong Village, Srange Commune, Siem Reap
Tel: 076-677-7879
Web: ajfih.org

▶ IMIデンタルクリニック

英語を話す歯科医在籍。
Add: No. 545, National Road 6A, Siem Reap
Tel: 063-767-618
Web: www.imiclinic.com

日本からカンボジアへ

カンボジア到着

1. 空港に到着。機内でイミグレーションカード、税関申告書を記入しておくとしムズに入国できる。
2. ビザを事前取得している場合は直接イミグレーションに。ビザを未取得の場合は、ビザカウンターにてアライバルビザを取得。
3. イミグレーションにパスポートとイミグレーションカードを提出し入国審査。
4. 機内に預けていた手荷物を受け取る。
5. 税関にて、税関申告書を提出。申告物がある場合(10,000US\$以上の持込みなど)は、係員に申告し、手続きを行う。
6. 空港出口にガイドなどの待機エリアがある。市内までは空港⇨市内間のタクシーカウンターもある。

ビザ カンボジア入国時にはビザが必要となる。主な取得方法は、日本のカンボジア大使館、領事館での取得、インターネットでe-visaの取得、そして空港や国境到着時にアライバルビザの申請となる。料金は観光ビザが30US\$、ビジネスビザが35\$となる。

カンボジア、Eアライバルカード

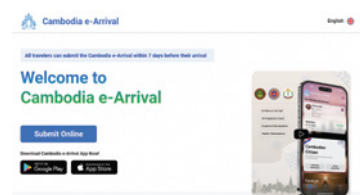
2024年9月より、紙の入国カード、税関申告書が廃止となり、E-Arrivalが稼働始めました。専用アプリ、Webより事前申請するか、空港内に設置されているタブレットにてパスポートをスキャンし、カンボジア滞在の日程、フライト情報、滞在先、出発地、到着日情報、健康情報、税関申告情報等を入力すると完了します。

E-Arrivalはビザ申請、入国審査、ヘルスチェック、税関まで連動しており情報は自動転送されているため、入国審査時はパスポートとQRコードを見せるだけで、大丈夫となっています。

入力画面には日本語設定も選択でき、入力はそれほど難しくありません。

E-Arrival サイト: <https://www.arrival.gov.kh/>

アプリダウンロード: 「Cambodia e-Arrival」で検索



Web サイト入力画面

カンボジア出国

1. 空港に向かう。(プノンペン: 市内から空港まで通常30～40分、朝、夕の通勤時間帯は渋滞のため90分以上かかることもあるので、時間に余裕をもって出発しよう。シェムリアップ: 市内から空港まで片道45～60分程度)
2. 空港内チェックインカウンターで搭乗手続き。
3. 出国審査、通関、X線チェック
4. 出発ロビーで待機。空港内にはお土産店、飲食店、ラウンジなどもある。

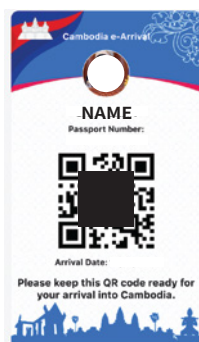
注意! パスポートの残存有効期間は入国日から6か月以上残っている必要があります。
飛行機を利用した海外からシェムリアップへの日帰り観光はできません。最低1泊の滞在が必要となり、出国できないのでご注意ください。

▶ プノンペン国際空港

Tel: 023-862800 / Web: pnh.cambodia-airports.aero

▶ シェムリアップ国際空港

<https://english.sai-airport.com/>



E-Arrival QR 画面



専用アプリ
「Cambodia e-Arrival」



空港内専用タブレット

Memo

発行

カンボジア観光省 (Ministry of Tourism)
No.3A, St.169, Sangkat Veal Vong,
Khan 7 Makara, Phnom Penh
+855-23-884-903
Web: www.tourismcambodia.com

Overseas Marketing and Promotion Department
Production Director Mr. Prak Vuthy
Production Supervisor Mr. Thang Bunthan
Editorial Assistant Mr. Dy Reamvibol
Editorial photography Mr. Nishimura Seishiro

協力

在日本国カンボジア政府観光局 (ワールドコンパス内)
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-16-7 ハイウェービル7階
TEL: 03-6455-0230 FAX: 03-6455-0239
Web: cambodiatourism.or.jp

制作

株式会社クロマー Korma Co., Ltd. Mr. Nishimura Seishiro
TEL: +855 17-777-1110
Web: korma.com Mail: info@seishiron.com

カンボジア公式ガイドブック

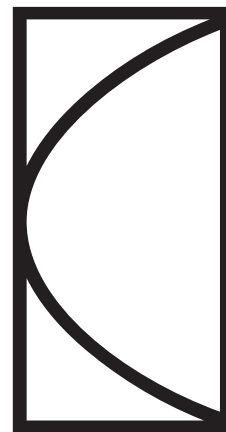
Cambodia Official Guide Book

2024年9月発行

※ 本書に掲載されている情報は2024年9月時点でのものとなり、掲載されている各種情報は予告なく変更される場合がございます。

※ 本誌掲載の地図、写真、文章、デザインなどの無断転写、複製、電子メディアでの利用、引用などを禁じます。利用する際は、事前に連絡いただければ、確認後に使用の可否をご連絡させていただきます。

日本の 歯科医療を 海外へ



DENRICHE ASIA

DENTAL CLINIC



デンリッシュアジアデンタルクリニック by 医療法人社団海星会グループ

日本の国民健康保健の還付金の書類作成致します。
各種クレジットカードをご利用可能。

DENRICHE BKK DENTAL CLINIC

#08A st. 398 BKK 1 Khan Beung Keng Kong, Phnom Penh
TEL: 023-901-200

診療時間

月～土 8時半から 19時半
日 祝 8時半から 16時半



医療法人社団 海星会



▶ 旅と出版インターンシップ生も募集中!

人気観光一覧

シェムリアップ

- 料金は2名様から催行の1名様料金
- 乗り合いガイド付ツアー ● 各施設入場券別
- GW、お盆、年末年始は料金UPすることがあります。

大人気

62\$

アンコールトム
タプローム
クメール料理
アンコールワット/夕日

定番!アンコール1日コース

お薦め

45\$

クルーズして
夕日鑑賞

半日!トンレサップ湖&夕日

106\$

アンコールワット
朝日、パイロン
タプローム、ベンメリア

1日メカ盛り!アンコールとベンメリア

179\$

ベンメリア
コーケー遺跡
プレアヴィヒア

世界遺産2つとベンメリア

大人気

55\$

ラピュタを彷彿!
廃墟寺院

人気森遺跡!半日ベンメリア

大人気

158\$

死ぬまでに見たい
絶景にある天空寺院

第2の世界遺産!プレアヴィヒア

115\$

ベンメリア
コーケー遺跡群

第4の世界遺産!コーケー遺跡

18\$
28\$
38\$

22\$

ディナー
プーフエショー

無形文化遺産アプサラタンス

【車レンタル・ガイド手配】

	30\$	35\$	110\$	30\$
シェムリアップ市内 半日				
シェムリアップ市内 1日	50\$	55\$	160\$	60\$
空港送迎 片道	55\$	65\$	75\$	30\$

運転手付き車レンタル

【遠距離追加】 朝日/トンレサップ湖/バンテアイスレイ +15\$、ベンメリア/プノンクレン +50\$
コーケー&ベンメリア +130\$、プレアヴィヒア/プノンベン(片道) +200\$等。他の観光地はお問合せ!

1ヵ月 70\$
3ヵ月 100\$
6ヵ月 180\$
1年 ???\$

ビザ延長・他国ビザ手配

75\$

労働許可証申請

35\$

銀行・証券口座開設

訪日旅行・ビザ申請

JRバス バス・航空券手配 短期~長期 運転手付車両レンタル



日本語で簡単予約!!
[+855]012-890960 / 015-890960



krormatours 012-890960

現地発ツアーもビジネス視察も

クロマーツアーズへ!

日本人スタッフ駐在なので安心!

プノンペン

- 車1台当たりの料金。セダンは4人、バンは8人乗車可
- ガイドが必要な場合は別途追加 ● 各施設入場券別
- カンボジア連休時、20時以降の利用は料金UPすることがあります。

大人気

55\$
70\$
70\$

王宮
シルバーパゴダ
ワットポン
国立博物館

人気!市内半日観光ツアー

お薦め

120\$
130\$
70\$

17-19世紀の王都
5時間ツアー

古都ウドンと現代寺院散策

170\$
190\$
120\$

カンボジアの
映えスポット

プレアブットパゴダとクメール遺跡

15\$
23\$
33\$

メコン河・リパークルーズ

180\$
200\$
120\$

ベトナム国境バート/ビザラン

180\$
190\$
120\$

カンボジアでゴルフ

大人気

70\$
85\$
70\$

カンボジアの
食の歴史を知る
半日ツアー

キリングフィールドとS21博物館

お薦め

70\$
85\$
80\$

家族旅行にもピッタリ
ワクワクの動物ショー
半日ツアー

楽しさいっぱい!プノンベンサファリ

お薦め

180\$
190\$
120\$

長閑な村荘と
プレアノール寺院

第3の世界遺産!サンボブレキック

335\$~

*飛行機利用は一人当たりの料金、車利用は一台当たり

日帰りアンコールワット見学(飛行機) 335\$/410\$
1泊2日アンコールワット(飛行機、宿付) 380\$/460\$

【車レンタル・ガイド手配】

	半日	1日
プノンペン市内	55\$ / 70\$ / 70\$ / 70\$	70\$ / 90\$ / 100\$ / 115\$
空港送迎	30\$ / 40\$ / 55\$ / 55\$	
シェムリアップ	片道 115\$ / 130\$ / 280\$ / -	日帰り 250\$ / 330\$ / 380\$ / 60\$
バタンバン	1泊2日 350\$ / 390\$ / 450\$ / 80\$	日帰り 250\$ / 330\$ / 380\$ / 130\$
プレアヴィヒア	1泊2日 350\$ / 390\$ / 450\$ / 290\$	日帰り 250\$ / 330\$ / 360\$ / 200\$
ケップ/カンボット	1泊2日 350\$ / 390\$ / 430\$ / 400\$	日帰り 180\$ / 190\$ / 220\$ / 120\$
シハヌークビル	1泊2日 240\$ / 260\$ / 290\$ / 290\$	日帰り 200\$ / 250\$ / 320\$ / 130\$

運転手付きバス手配

【遠距離追加】 キリングフィールド S+15\$/V+25\$、PPSEZ S+35\$/V+45\$/G+20\$、
ガーデンシティゴルフ+S25\$/V+50\$/G+20\$等。その他の観光地はお問合せ下さい。



日本語で簡単予約!!
[+855]099-890960 / 081-890960



krormatourssp 099-890960

ビジネス視察、取材、コーディネートなど実績多数!!

観光省認可 248/10

ホテル/VIP・一般車両/ガイド・通訳/レストラン/バス/航空券
視察ツアー/ビザ更新&手配/MICE/取材・撮影手配・同行
アポ代行/スタディツアー/訪日ツアーなど各種手配も承り中!

総合旅行業務取扱管理者在籍/ロングステイアドバイザー在籍

<https://cambodia.sketch-travel.com/>
Mail: cambodia@sketch-travel.com



公式ガイドブック

カンボジア



CLEAN CITY CLEAN RESORT GOOD SERVICE BEST HOSPITALITY

No.3A, St.169, Sangkat Veal Vong, Khan 7 Makara, Phnom Penh

Tel: (855)23-884-903 Web: www.tourismcambodia.com